

令和元年

高松市教育委員会 9月定例会

会議録(抄本)

9月26日(木)開会

9月26日(木)閉会

出席した教育長及び委員			
教 育 長	藤 本 泰 雄		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	赤 松 雅 子		
教育局次長 総務課長事務取扱	石 原 徳 二		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	南 岳 志		
中央図書館長	猪 原 良 輔		
学校教育課長	川 上 敬 吾		
保健体育課長	合 田 伸 太 郎		
こども園総務課長	合 田 磨		
こども園運営課長	中 谷 厚 之		
こども園総務課長補佐	三 木 勝 彦		
総務課長補佐	香 川 昭 子		
総務課総務係長	牧 野 小 織		
総務課総務係主査	藤 澤 由 美		
会議録署名委員	吉 澤 潔		
事務局担当書記	新 田 周 子		

【特記事項】 傍聴人なし

## 議 事 日 程（ 9 月 定 例 会 ）

日程第 1 議案第 26 号 高松市立幼稚園規則の一部改正について

日程第 2 報告事項

- 1 令和元年第 4 回高松市議会定例会答弁要旨について
- 2 高松市生徒みらい議会の報告について
- 3 インフルエンザの発生について
- 4 令和元年度「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシートによる調査結果について
- 5 令和元年度高松市家庭教育講演会の開催について
- 6 第 1 5 回高松市子ども読書まつりの開催について
- 7 高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画の取組状況について（大町幼稚園と田井幼稚園の統合について）

【令和元年9月26日（木） 議 事 内 容】

---

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に吉澤委員を指名。

日程第1 議案第26号

議案第26号 「高松市立幼稚園規則の一部改正について」

こども園総務課長及びこども園運営課長から、高松市立檀浦幼稚園及び高松市立林幼稚園の廃止、並びに、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、高松市立幼稚園規則の一部を改正することについて説明。

<質疑>

- 教 育 長 檀浦幼稚園は現在休園していますが、林幼稚園の園児数は現在何名ぐらいですか。
- こども園総務課長 今年の5月1日現在で、3学年あわせて98名です。
- 教 育 長 こども園に移行すると、100名は超えますね。
- こども園総務課長 こども園の定員は、299名とすることを予定しております。

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

---

日程第2 報告事項

報告事項1 「令和元年第4回高松市議会定例会答弁要旨について」

教育局長から、9月定例市議会での教育委員会関係の質問及び答弁について報告。

<質疑>

- 教 育 長     がん教育について、平均すると、香川県は全国より進んで取り組んでいるようですが、現状や課題についてはいかがでしょうか。
- 委 員     平成24年度に行った全国調査で、県のがん教育は、非常に遅れており、下から3番目ぐらいであると指摘されました。その後、急速に進めていきまして、現在は実施率が全国平均を約20%上回っています。香川県独自のテキストとカリキュラムを作成し、小学3年生、中学2年生、高校2年生を対象に教育を行うこととしています。中学校では、保健師及びがん専門の認定看護師などの外部講師が講義を行っております。また、児童・生徒自身ががん患者であったり、家族にがん患者がいたりするような場合には、がん教育を受けさせてよいか等を学校医に相談する、ということを考えております。今年の年末から来年年始にかけ、学校医及び市町村の担当者を集め、香川県のがん教育の現状と今後の課題について講習会を行う予定です。再来年のカリキュラムの改訂時に、がん教育が指導要綱に入ります。そのときに、厚生労働省が新しいテキストを出すと思いますが、その際に、これまで香川県が独自に作成していたテキスト等の扱いをどうするのか等について検討を進めているところです。
- 教 育 長     スクールロイヤーについても、国が来年度予算に4億円を計上し、全国で300人を配置する予定となっています。教育事務所に置くという方向が示されていますが、その場合には、学校から直接相談するのが難しいのではないかと感じています。市でも設置できるか検討が必要だと思っております。
- 委 員     日弁連では、平成30年の1月頃に、スクールロイヤーを導入するという提言があったと思います。スクールロイヤーも、学校側に立つのか、児童・生徒の利益を考え、第三者的立場に立つのかという点が、難しいところです。日弁連では、後者の考え方であったと思いますが、今後どのような形で導入していくのかということが検討課題であると考えます。
- 教 育 長     また、先の選挙での投票率が低かったことから、多くの質問を受けました。

投票率を上げるという意味では、主権者教育も重要ですが、小さい時から選挙に行くことを習慣化すること等が重要なのではないかと思います。市民の皆さんが課題ととらえていることを、質問されていると思いますので、今後もその他教育行政課題として取り組んでいかなければならないと考えております。

---

## 報告事項2 「高松市生徒みらい議会の報告について」

学校教育課長から、令和元年度高松市生徒みらい議会について報告。

### <質疑>

- 委員 実際に見に行きまして、とても素晴らしかったと思います。議会前に学校で話し合い、意見をまとめ、議会で出し、学校に持ち帰り還元する、という流れをしっかりと作っていくことができればいいのではないかと感じました。
  - 学校教育課長 基本的に、学校で話し合いをし、それを代表が持ち寄る、という形で進めているところです。今回は、喫緊の課題ということで、委員会側で議題を設定しましたが、参加校に議題を出してもらい、設定する年もあります。
  - 教育長 今回の報告も事務局で作成したのですが、事務局から発信することには、違和感を感じます。一高生がリーダーを務めていたので、一高に送付のうえ修正してもらい、発信するという形が望ましいと思います。ぜひ、各校で全校生に広げて、高松市の子どもたち全員の総意として実行してもらえたらと思います。
- 

## 報告事項3 「インフルエンザの発生について」

保健体育課長から、9月に発生したインフルエンザの状況について報告。

<質疑>

- 教 育 長 例年より50日程度早い流行ですね。現在は、罹患者が減っているのですか。
- 保健体育課長 9月24日時点では、香西幼稚園で4名、下笠居中学校で8名確認されています。現在は、幼稚園は3名になっております。県下では、綾歌中学校で9月18、19日、丸亀南中学校で9月25日に学級閉鎖をしております。現在のところは、さらに広がるような兆候はないようです。

---

報告事項4 「令和元年度『早寝早起き朝ごはん』生活リズムチェックシートによる調査結果について」

生涯学習課長から、全小・中学校の児童、生徒を対象に行った「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシートによる調査結果について報告。

<質疑>

- 教 育 長 目標は、自分で設定するようになっていますが、望ましくない目標が立てられていることもあるのでしょうか。
- 生涯学習課長 少数ですが、就寝時間を遅く設定していたり、ゲーム時間を長時間設定していたりする子どもがいたようです。
- 教 育 長 目標睡眠時間について、低学年であれば何時間というように、目安を示す方法もありますね。
- 生涯学習課長 そうですね。チラシには、9時までに就寝するのが望ましい旨を記載しております。
- 教 育 長 データとしては、例年とほぼ同じような結果となっていますね。朝ごはんも、いつもこれぐらいの数字で頭打ちですね。約800人が達成できていないようです。

- 委 員 ここに出ている、朝ごはんを食べた子の数は、チェックシートを回収できた子の内数なので、回収できていない子の状況がどうなっているのかも気になります。提出されない理由も含めて、そこに潜んでいるネグレクトなどの問題や、子どもがおかれている状況も考える必要があると思います。
  - 教 育 長 小学生約2000人、中学生も2000人弱のシートが回収されていないですね。学校で行っているので、回収率を上げていきたいと思います。
- 

#### 報告事項5 「令和元年度高松市家庭教育講演会の開催について」

生涯学習課長から、高松市PTA連絡協議会との共催により、長谷川陽子氏を講師に迎え、高松市家庭教育講演会を開催することについて説明。

#### <質疑>

- 教 育 長 これは、中高生も聴講可能ですか。
  - 生涯学習課長 可能です。
  - 教 育 長 ぜひ、PTAなどに広報する際に、中高生自身が聴講できることも周知してもらいたいと思います。皆様も、時間がありましたらご参加ください。
- 

#### 報告事項6 「第15回高松市子ども読書まつりの開催について」

中央図書館長から、11月4日にサンクリスタル高松で開催する「第15回高松市子ども読書まつり」の概要について説明。



<質疑>

- 教 育 長     これにつきましても、お時間の許す限り、ぜひご参加をお願いいたします。
- 

報告事項7 「高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画の取組状況について（大町幼稚園と田井幼稚園の統合について）」

こども園総務課長から、大町幼稚園、田井幼稚園、田井保育所を統合し、令和6年度から開園する認定こども園に先立ち、大町幼稚園と田井幼稚園を先行統合することについて説明。

<質疑>

- 教 育 長     田井幼稚園については、令和2年度から工事に入りますか。
- こども園総務課長     解体につきましては、令和3年度から実施することとしています。
- 教 育 長     そのときに廃止の手続きを行うのですか。保護者説明も終わっている状態ですか。
- こども園総務課長     はい。今年度入園する保護者様に、昨年度に説明を行いました。在園児の保護者様にも説明をいたしました。こども園の設置は、令和6年度を予定しているのですが、田井幼稚園の方には、大町幼稚園に移動していただくようになりますので、移行を1年遅らせることができないかという質問を受けました。ただ、市が実施する場合、予算の措置や実施設計、基本設計ということが伴いますことから、令和2年度の統合が必要である旨を説明して、御理解をいただいたものです。保護者の方から多く寄せられた御意見としては、来年度以降、慣れ親しんだ田井幼稚園の先生が全員大町幼稚園に移ると、場所が変わり、環境も変わる中であって、馴染みの先生もいないとなると不安がるので、そのあたりの配慮をお願いしたいというものがありました。
- 教 育 長     あくまで大町幼稚園に吸収されるのではなく、田井幼稚園と大町幼稚園の統合ということであれば、教員についても、そのような配慮も必要かもしれませんね。

- 委 員 5歳児、4歳児、3歳児と人数が徐々に減っているようですが、統合する頃に、この地区に子どもがほとんどおらず、せつかく定員を105名にしても、ガラガラになるということはないのですか。何か、この地区に住民を集めるような計画もないのでしょうか。
- こども園総務課長 統合予定である、近隣の田井保育所につきましては、入所児童数としては減少しておらず、横ばいですので、ある程度の児童数は確保できるものと見込んでおります。
- 教 育 長 幼稚園の方は、現在4歳児で4名ですが、4歳や5歳になったタイミングで入園するお子さんもいるのですか。
- こども園総務課長 そのようなお子さんは大変限られていると思います。ただ、他の保育所に通っているお子さまのうち、小学校にあがることを見据えて、地元の幼稚園に通われるようになる方はいらっしゃると思います。浅野地区もこども園を設置する計画となっておりますが、この地区では5歳になると浅野幼稚園に通われるお子さんが増えております。このような事例もあることから、田井・大町地区においても、こども園に移行する際に一定程度の園児数は確保できるものと考えております。

————— 午前10時55分 閉会 —————

## 議決事項

「高松市立幼稚園規則の一部改正について」